

30日 火曜

ハバクク

3:1 預言者ハバククの祈り。シグヨノテに合わせて。

3:2 主よ。私はあなたのうわさを聞き、主よ、あなたのみわざを恐れました。この年のうちに、それをくり返してください。この年のうちに、それを示してください。激しい怒りのうちにも、あわれみを忘れないでください。

3:3 神はテマンから来られ、聖なる方はパランの山から来られる。セラその尊厳は天をおおい、その賛美は地に満ちている。

3:4 輝きは光のよう。ひらめきはその手から放たれ、そこに力が隠されている。

3:5 その御前を疫病が行き、熱病はそのうしろに従う。

3:6 神は立って、地を測り、見渡して、諸国の民を震え上がらせる。とこしえの山は打ち碎かれ、永遠の丘は低くされる。しかし、その軌道は昔のまま。

3:7 私が見ると、クシャンの天幕は乱れ騒ぎ、ミデヤンの地の幕屋はわなないでいる。

3:8 主よ。川に怒りを燃やされるのですか。あなたの怒りを川に向けられるのですか。それとも、あなたの憤りを海に向けられるのですか。あなたは、馬に乗り、あなたの救いの戦車に乗って来られます。

3:9 あなたの弓はおおいを取り払われ、ことばの杖の誓いが果たされます。セラあなたは地を裂いて川々とされます。

3:10 山々はあなたを見て震え、豪雨は流れ去り、深い淵はその声を出し、その手を高く上げます。

3:11 太陽と月はその住みかにとどまります。



Bible Reference

聖書の記述

あなたの矢の光によって、あなたのきらめく槍の輝きによって、それらは動きます。

3:12 あなたは、憤って、地を行き巡り怒つて、国々を踏みつけられます。

3:13 あなたは、ご自分の民を救うために出て来られ、あなたに油そそがれた者を救うために出て来られます。あなたは、悪者の家の頭を粉々に砕き、足もとから首まで裸にされます。セラ

3:14 あなたは、戦士たちの頭に矢を刺し通されます。彼らは隠れている貧しい者を食い尽くす者のように、私をほしいままに追い散らそうと荒れ狂います。

3:15 あなたは、あなたの馬で海を踏みつけ、大水に、あわを立たせられます。

3:16 私は聞き、私のはらわたはわななき、私のくちびるはその音のために震える。腐れは私の骨のうちに入り、私の足もとはぐらつく。私たちを攻める民に襲いかかる悩みの日を、私は静かに待とう。

3:17 そのとき、いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木は実をみのらせず、オリーブの木も実りがなく、畑は食物を出さない。羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいなくなる。

3:18 しかし、私は主にあって喜び勇み、私の救いの神にあって喜ぼう。

3:19 私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。

11節から14節前半は神様の救いの力強さが表されています。また14節後半には敵の暴虐、そして15節には神の力、16節には自分自身の悲惨さ、そして18節には神の救い…というように視点が細かく変わります。

これはまさに人間の置かれた状況を表します。苦難があり、救いがあり、そこに信仰があり、ま

た悩みがある…とうように実際の私たちも色々に変化します。それはいわば普通のことであって、最終的には「しかし、私は主にあって喜び勇み、私の救いの神にあって喜ぼう。私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。」という主の勝利が実現します。必ず主の恵が実現するのですから、不平や落ち込み、自己憐憫や劣等感を捨てて、前に進んで行きましょう。

ハバククは主の勝利の宣言を歌いますが、しかしながら16節からは苦難について記します。そしてまた18から19節に主のすばらしい回復が宣言されるのです。つまり主の勝利があり、苦難があり、そして最終的な勝利があるのでした。

このような信仰の宣言も大切です。つまり主に苦しさを訴える前に、まず主のすばらしさ、主の勝利を宣言するのです。そうすると勝利の確信の中で苦しさを訴えることができるでしょう。自己憐憫や無希望に陥ることがないのです。

その始めの勝利宣言は主の「あわれみ」、「尊厳は天をおおう」という壮大さ、「疫病」や「熱病」という敵に対する恐ろしいまでの力が述べられています。

「主は愛の神様だから恐れることはない」という人もいますが、それは間違いです。主を恐れることは主の偉大さを認めることでもあり、それはハバクク書のように、敵への勝利の確信にも直結するのです。ですから主を恐れつつ、主の偉大さを賛美し、そして主の勝利を確信して、勇気を持って主の道に進んでいきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？